

閨雨又りよもーのり  
月夜にふりぬ  
かたしるさあ少權  
美流の  
是年中の清  
けられ若くは  
心身に一は丸  
のたふらるる  
佳他何印多物  
七もいふ  
のさあさ  
免月  
中  
因  
誤  
獨  
て  
は

書大二三子



次書すまへ八傳の孔後

孫の出入の成りたるは

しるの画をなすは

節のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

御階とて遠所を射

すは乃の眼を磨く

中七の葉の中乃の

合の御階の法に

御階のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

一付の成りたるは

出冊のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

雨のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

は乃のこのうらまへ

更也 更行 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟

雪の巻  
五

廿九

草花の日々  
成る次第

いふ書は、

春の心  
芒の穂

清の心  
平の心

花の心  
柳

花の心